

九中図書館だより

文京区立第九中学校図書館

令和5年1月 第9号

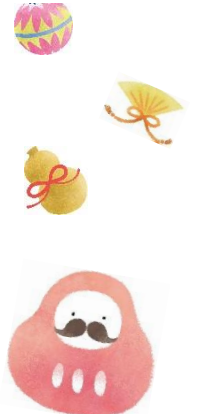
学校図書館支援員 蛭田康寿子



新しい年になりました。年末年始はどのように過ごしましたか？
ところで、一年で最初に見る夢を「初夢」と言いますが、皆さんはどんな夢を見たでしょうか。

初夢を見る日にちについて、大晦日の夜なのか、いや元日の夜だなど、複数の説があります。室町時代の京都では、節分の夜だと言われていたり、江戸時代では、除夜の鐘を聞いたあとだとも言われていたそうです。

色々な説を本で調べてみると、今まで知らなかったちょっと楽しい「気付き」に出会えるかもしれません。本年もどうぞ、たくさん九中図書館を利用してください。



九中図書館 利用案内

開館日 月曜日 ~ 金曜日
開館時間 昼休み 13:00~13:20
放課後 学活終了後~16:30
貸出冊数 2冊まで 貸出期間 2週間まで

支援員在室曜日は

月・火・木・金

在室時間は

11:30~16:30

※行事や授業によって

変更になることがあります

図書館からのオススメ本



『駅伝ごはん』 大八木京子 著

ベースボール・マガジン社【782 オ】

1920(大正9)年から、毎年1月2日と翌3日の2日間に行われる箱根駅伝。毎回感動を生むドラマが繰り広げられるのは、こんなおいしそうなお飯を、選手が食べていたからかもしれません。

選手たちの背景を知るもよし、「旨そう～」と眺めるだけでもよし、文字通りオイシイ1冊です。





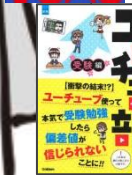
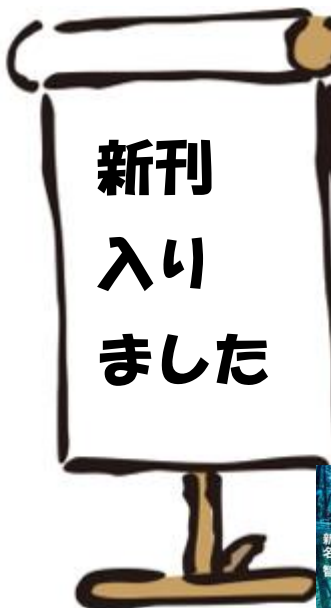
百人一首を読む

百人一首は、鎌倉時代に藤原定家が宇都宮頼綱に依頼され、京都・嵯峨野の小倉山荘にこもって100人の歌人の和歌を選び、年代順に色紙にしたためのものが起源となっています。

当時は「百人一首」という名称はついておらず、室町時代後期に連歌師の宗祇によって『百人一首抄』として紹介され、江戸時代に絵入りのカルタの形で庶民の間に広まり、皆で楽しめる遊びとしても普及しました。

図書館前の掲示コーナーでは、百人一首の特集をしています。興味を持った方、ぜひ図書館に来て手に取ってみてください。

- 『こんなに面白かった「百人一首」』 吉海直人著 PHP 研究所
- 『もしも紫式部が大企業のOLだったなら』 井上ミノル著 創元社
- 『5文字で百人一首』 すとうけんたろう著 講談社
- 『絵で見てわかるはじめての古典⑤百人一首・短歌』 田中貴子監修 学研
- 『光村の国語 はじめて出会う古典作品集②』 河村房江監修 光村教育図書
- 『ちびまるこちゃんの暗誦百人一首』 米川千嘉子著 集英社
- 『眠れないほどおもしろい百人一首』 板野博行著 三笠書房
- 『百人一首新字典』 百人一首研究会著 受験研究社
- 『百人一首人物大事典』 渡部泰明監修 金の星社
- 『英語で読みとく百人一首大図鑑』 ピーター・マックミラン著 ほるぷ出版



- 『君のクイズ』 小川哲著 朝日新聞出版
- 『ユーチュー部!! 受験編』 山田明著 学研プラス
- 『あさとほ』 新名智著 KADOKAWA
- 『橋の上で』 湯本香樹実著 河出書房新社
- 『マーブル』 珠川こおり著 講談社
- 『カレーの時間』 寺地はるな著 実業之日本社
- 『給食アンサンブル2』 如月かずさ著 光村図書出版
- 『ギネス世界新記録 2023』 クレグ・グレディ編 角川アスキー総合研究所
- 『犬にウケる飼い方』 鹿野正顕著 ワニブックス
- 『路面電車すごろく散歩』 鈴木さちこ著 イースト・プレス



12, 1月に入った新刊の一部を記載しています